

2月の衛研検査情報

～概要版～

年末食品収去検査結果（令和元年度）

年末食品等一斉点検事業は厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官から出された「令和元年度食品、添加物等の年末一斉取締りの実施について」の通知に基づき、食品流通量が増加する年末及び食中毒患者が多発する冬季における食中毒の防止を図るとともに、積極的に食品衛生の向上を図る見地から全国一斉に実施されるものです。本市においては令和元年11月1日から12月27日までを年末取締り期間と定め、一斉点検を行いました。そのうち、健康福祉局食品専門監視班及び各区福祉保健センターによる収去で搬入された検体について、当所が行った食品添加物検査及び細菌検査の結果について報告します。

主な結果 食品添加物検査は、搬入された140検体（輸入品74検体、国産品66検体）の食品について、菓子類、野菜類・果物及びその加工品などを重点的に、保存料、着色料、酸化防止剤など2,459項目の検査を実施しました。その結果、いずれも食品衛生法及び食品表示法に適合していました。
細菌検査は、食肉製品・洋生菓子・そうざいなど99検体252項目の検査を実施しました。検査の結果、規格基準違反はなく、洋生菓子で衛生規範不適が4検体ありました。

魚介類中のPCB検査結果（令和元年度）

主な結果 令和元年6月と10月に中央卸売市場本場で収去した市内に流通する魚介類7種10検体について、PCBの検査を行いました。その結果、全ての検体で不検出でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 令和2年1月は、横浜市感染症情報センタートップページ、コロナウイルス感染症、インフルエンザ流行情報（2019/2020）、大麻（マリファナ）、死亡率・致死率（致命率）・死亡割合、トキソプラズマ症、インフルエンザ、衛生研究所トップページ、B群レンサ球菌（GBS）感染症、EBウイルスと伝染性単核症に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は414,505件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。